

1. 事業名

動物愛護ボランティア実態調査(市民協働事業提案制度による)

2. 現状・課題

殺処分ゼロの方針の元、行政が動物の引き取りを断らざるを得なくなり、猫の害に悩む住民の不満が大きくなっている。行政の代わりに動物愛護ボランティアが受け皿となっているが、基盤が弱い弱で、安定した活動は望めない状況にある。令和 2 年度市民協働事業の提案で、動物愛護活動への市民参画事業の提案があったが、計画が甘く、まずは調査のみを実施すべきとの意見が審議委員より通知された。また、市民活動支援補助金の申請について、動物愛護系が 4 団体目となり、協働事業提案による調査を行い、その結果をもとに、今後の支援の在り方について検討すべき段階にきているとの意見が委員から通知された。

3. 事業目的

動物愛護ボランティアの現況を調査し、効率的、効果的な支援策を検討する。

動物行政に大きな役割を果たすようになった動物愛護ボランティアに対し、効率的な支援策を実施、受け皿としての機能を維持することにより、生活環境の向上、住民満足に寄与することが目的。

4. 事業実施期間

令和 3 年 6 月～7 月

5. 事業内容

市民協働事業提案制度の趣旨、審議委員の意見通知に則し、提案団体であるまちの遊民社に下記調査を委託する。

市内で動物愛護ボランティアとして活動している団体や個人について調査し、規模、構成、活動内容、課題などを把握する。

市民協働事業提案制度で寄せられた提案事業の内、調査事業のみを実施する。

市は本調査結果をもとに、今後の支援の在り方について検討する。

まちの遊民社による、本調査結果を活かした「人と動物の共生社会実現のための市民参画推進事業」の再提案についてはこれを妨げない。

6. 予算要求額

03 動物愛護管理費-事業 002 動物愛護管理費-小事業 001 動物愛護管理費

13 委託料-01 委託料-010 委託料(費用) 400 千円

(財源 15 款使用料手数料 02 手数料 03 衛生手数料 犬の登録等手数料 400 千円)

犬猫愛護活動ボランティア調査の内容

■動物愛護活動団体・個人のピックアップ

まちの遊民社として、既知の団体・個人が 10 ほどあり。

既知の市民ボランティア団体・個人(まちの遊民社の構成員の内 2 名は、それぞれ異なる犬のボランティア団体、及び、猫のボランティア団体の活動に参加しており、つながりを持っている。)、公共機関(富士市環境総務課、富士保健所衛生薬務課、静岡県動物保護協会動物保護第二指導班)、その他団体(富士ハーネス、獣医)へのインタビューにより、芋づる式に富士市内で動物愛護活動を行っている団体・個人を探す。

インタビュー対象は、公共機関 3、ボランティアとその他団体で 37 併せて 40 程度を予定している。

富士市環境総務課

市民活動支援補助金、猫の避妊去勢活動の対象者を紹介可能。

富士保健所衛生薬務課

県動物愛護推進員関係の活動者とのつながりあり

静岡県動物保護協会動物保護第二指導班

災害動物ボランティアリーダーとのつながりあり

動物保護管理指導員の活動者とのつながりあり

富士ハーネス

ボランティアの活動により支えられている

獣医

いくつかの獣医は、ボランティアと連携し、里親探しに協力。

動物愛護ボランティアとして活動する団体・個人のピックアップは可能。

■インタビューの内容

規模

構成

収支の状況

活動内容

課題

知っている他の団体・個人

市事業への協力の可能性